

飛躍の年の始まり

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の方々、関係機関の方々におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、皆様のご理解・ご協力を得て、教育活動を進めることができました。生徒たちの成長とともに残された課題はありますが、一つ一つ克服し、校訓である「清新・堅実・連帯」のもと、学校教育目標の「心豊かでたくましく、主体的に社会に貢献できる資質・能力の育成」の達成に向け、今年も教職員一同全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解、ご支援賜りますようお願いいたします。

さて、生徒の皆さん、今年は十二支で言うと「卯(う)」年です。「卯」とは、白くてかわいい目をしたイメージのある「ウサギ」です。「卯」という漢字は、左右に開かれた門の形からできていて閉じていた門が開き「とび出る」という意味から「飛躍する」年と言われます。昨年はコロナの影響を受けながらも、できることを工夫して行事や取組を成功させてきました。今年も、with コロナの状態は続きますが、行事や様々な取組を通してさらに「飛躍」する年にしてほしいと思います。

そこで節目となる年の初めに、目標をしっかりと持ってください。その目標の1つに、「困難なことでもあきらめず粘り強く取り組む」、「わかる(できる)まで努力する」、「相手の立場に立って考え協力する」など取り組む姿勢や心の内面に關わるものも立ててみてください。これは、以前から話している非認知能力といわれるもので、将来社会で生きていくうえで大切だといわれています。



そして、その目標を達成するための具体的な計画をたて、実行し、振り返りながら、「なりたい自分」に近づくために前に進んでほしいと思います。確かにうまくいくことばかりではありません。しかし、目標を実現できなくても、どこまで到達できたかを振り返ることで、努力した自分を自覚し、自分自身が価値ある存在だと感じることができます。サッカーW杯に4回出場し「ブラボー」で有名になった長友選手も「夢が実現しなくても、努力した後には成長した自分が待っている」と言っています。

3学期は年度を締めくくる大切な時期です。3年生は希望進路実現、1・2年生は上級生になるための学習面や生活面での準備を頑張ってください。さらなる成長を期待しています。

《入学説明会・体験授業》

12月22日(木)に本校で令和5年度の入学予定者を招いて、中学校生活の説明や授業体験を行いました。参加した児童は、指示をしっかりと聞き、積極的に授業に参加するなど、中学



校に入学したら頑張ろうという意欲を感じることができました。また、併せて保護者説明会も行い、警察からのスマホ教室も開催しました。ご参加ありがとうございました。



《門松づくり・部活動地域清掃》 12/23

昨年に引き続き、二中校区の学校支援地域本部の皆さんと八幡たけくらぶの皆さんに協力していただき、生徒会や文化系の部活の生徒が門松づくりを行いました。門松づくりを通して、伝統文化に触れたこと、いつもお世話になっている地域の方々と一緒に活動できたことが大変意義深いものでした。作成した門松は、校区の小中学校にもプレゼントされ、二中校区の小中学校を飾ります。

また、部活動のメンバーで地域を分担し、地域清掃を行いました。雪の舞い散る寒い中でしたが、参加した生徒は、地域を少しでもきれいにしようと一生懸命ごみ拾いを行いました。地域清掃を通してコミュニティ意識が芽生えてくれればと思います。



《いじめ防止標語コンテスト 二中賞》

昨年の人権週間に「いじめを絶対許さない学校」「人権をみんなで守る学校」を目指して全校で取り組んだ「いじめ防止標語」の校内の優秀作品です。今後全国版のコンテストに応募していきます。

- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 1年 | 「あなたの勇気が私の光」 | 北岡 美月 |
| 2年 | 「無関心はいじめを 勇気は笑顔を作り出す」 | 山口 滉介 |
| 3年 | 「その言葉 おもしろいのは あなただけ」 | 岡本 優奈 |

《Xmas会 吉井松里》

12月17日(土)に行われた吉井松里のXmas会に、本校吹奏楽部が招かれ、クリスマスらしいハンドベルの演奏やコンテストの出場曲などを披露し、地域の方々に楽しんでいただきました。



《教育講演会 「ストレスマネジメント」》

12月19日(月)に、本校の長谷川スクールカウンセラーに「ストレスマネジメント」の講演を生徒向けと保護者向けにいただきました。感染対策のため、リモートでの講演となりましたが、ストレスがある時の状況や対処法などを考える良い機会となりました。

男山第二中学校生の活躍

《第10回京都府小論文グランプリ》 京都府教育委員会

文集作品の部 優秀賞(学校賞)
個人作品の部 入選 南 咲弥芽「善人の基準」
C分野(道徳・特活・総合)



《全国中学生人権作文コンテスト京都大会》

京都地方法務局、府人権擁護委員連合会 佳作 出口 理律子



《中学生の税についての作文》

全国納税貯蓄組合連合会、国税庁
中元 雪帆(京都府納税貯蓄組合総連合会長賞)
久間 紫穂(山城地区租税教育推進協議会長賞)
原田 慶乃(八幡市長賞)



《第55回京都府アンサンブルコンテスト

中学校の部》 京都府吹奏楽連盟、朝日新聞社
銀賞 「彼方の光を掴むとき」管楽6重奏
(井本、川口、大西、樋口、谷口、阿地部)



《第11回絵画・イラストコンクール》 京都精華学園高校

佳作 阪本 真菜

《第60回中学生作文コンクール》 生命保険文化センター

府3等 上村 采華 府佳作 樋口 優美

【スマホ依存からの脱出】

昨年の面談で、子どもが家にいる時間にずっとスマホを見て注意しても聞かないという話が多くあったと聞きました。これは全国的にも問題になっていることで、ネット依存は、昼夜逆転の生活やひきこもりなど深刻な問題となっています。特にゲーム障害は、ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障が出るとしてWHO(世界保健機関)も2019年5月に病気として認定しています。皆さんも、スマホから離れられず、

夜中までやっていて朝が起きられない、家族で相談して決めたはずの使い方のルールが守れない、取り上げられそうになったら逆上してしまったなど、当てはまるものが少なからずあると思います。研究や調査を調べると、スマホ依存やゲーム障害にならない子の特徴は、スマホ以外に好きな遊び（こと）があったり、勉強・部活などの優先順位を自分でつけられたり、家族の対話が活発だったりするそうです。まずは、スクリーンタイムなどで自分がどれくらい使用しているかを確認し、スマホに時間を支配されてできなくなっていることは何かを考えることから始めてみてください。

《今後の予定》

平成5年 1 月 行 事 予 定					
月日	曜	学 校 行 事	給食	生 徒 会	PTA 行事
10	火	3学期始業式	×		
11	水	あいさつ運動、給食開始	○	あいさつ運動	あいさつ運動 本部役員立候補
12	木	あいさつ運動	○	あいさつ運動	あいさつ運動
13	金	小中合同あいさつ運動（南山小）	○	南山小あいさつ	
14	土				
15	日				
16	月	小中合同あいさつ運動（南山小）	○	南山小あいさつ	
17	火	授業参観	○		
18	水		○		
19	木		○		辞退届提出
20	金	英検	○		
21	土	八幡市子ども会議市長提言			
22	日				
23	月		○		選挙管理委員会
24	火		○		
25	水	研究授業（1年）	○		本部役員投票～1/31
26	木	3年学年末テスト	120 3×		
27	金	3年学年末テスト	120 3×		
28	土				
29	日				
30	月		○		
31	火		○		
【2月の主な行事】					
1日（水）あいさつ運動			14日（火）～20日（月）テスト前学習会		
2日（木）あいさつ運動			16日（木）・17日（金）公立前期選抜		
3日（金）1・2年校外学習			21日（火）1・2年学年末テスト		
10日（金）～12日（日）京都・大阪私立入試			22日（水）1・2年学年末テスト、公立前期発表		

